

令和 4 年度第 3 回市川市教育振興審議会 会議録

1 開催日時 令和 4 年 8 月 8 日（月）14 時 00 分から 15 時 30 分

2 場 所 市川市八幡 1 丁目 1 番 1 号
市川市役所第 1 庁舎 5 階 第 4 委員会室

3 出席者（敬称略）

(1) 会 長 天笠 茂

(2) 副会長 石田 清彦

(3) 委 員 田中 孝一
柳澤 幸江
五十嵐 祐子
田代 美香絵
松本 浩和
富家 薫
尾崎 えみ子

(4) 事務局 田中 庸恵（教育長）
小倉 貴志（教育次長）
永田 治（生涯学習部長）
吉田 一弘（生涯学習部次長）
藤井 義康（学校教育部長）
奥田 淳（学校教育部次長）
佐原 達雄（学校教育部学校建設担当参事）
町田 茂幸（生涯学習部教育総務課長）
富永 香羊子（学校教育部指導課長）
関原 一久（学校教育部保健体育課長）
須志原 みゆき（生涯学習部教育総務課主幹）
三河 崇邦（同課副主幹）
岩瀬 絢子（同課副主幹）
新田 伸子（同課主査）

4 議 題

(1) 調査審議

令和 3 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について

(2) 答申

令和 3 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について

5 提出資料

(1) 次第

(2) 令和 3 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 点検・評価報告書（案）

(3) 資料

①令和 4 年度市川市教育振興審議会スケジュールについて

- ②施策の評価結果の経年変化一覧
 - ③令和3年度の教育に関する点検・評価報告書案についてのご意見と回答
 - ④令和3年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 総括
 - ⑤審議会意見に基づく点検・評価報告書（案）の修正
- (4) 答申案
- (5) 答申修正案

6 会議録

【14時00分 開会】

○天笠会長

ただいまから、令和4年度第3回市川市教育振興審議会を開催させていただきます。本日の会議は、審議会委員10名のうち、9名ご出席でございます。市川市教育振興審議会条例第6条第2項の規定により、成立いたしております。審議に先立ち、市川市審議会等の会議の公開に関する指針第7条の規定に基づき、本日の議題に係る会議を、公開するかどうかを決定いたしたいと思っております。事務局にお尋ねします。本日の議題に同指針第6条に関する規定に関する非公開事由はございますでしょうか。

○町田教育総務課長

非公開事由はございません。

○天笠会長

それでは会議を公開することとしてよろしいかどうかお諮りいたします。いかがでしょうか。

○委員全員

【異議なし】

○天笠会長

ご異議なしと認めます。それでは、本日の議題に係る会議を公開することと決しました。傍聴人の方の入場を認めます。

○町田教育総務課長

本日傍聴希望者はおりません。以上でございます。

○天笠会長

それでは次第に沿って進めさせていただきます。次第1、令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について、本議題の調査審議を行います。事務局からこの件につきまして、説明をお願いいたします。

○町田教育総務課長

教育総務課長でございます。お手元の資料5、点検及び評価についての審議会意見に基づく点検評価報告書案の修正及び、答申案のご用意をお願いいたします。これらは、第1回、第2回審議会でのご意見を踏まえまして、作成したものでございます。はじめに、資料の5、点検・評価報告書案の修正内容についてご説明をいたします。修正部分を網掛けで示しております。なお、審議資料のページ番号は、点検・評価報告書案のページ番号と同じ番号を付けさせていただいております。1ヶ所目は、「Ⅰ 点検・評価の概要」の部分でございます。1ページでございます。冒頭の説明文の文意が不明確であり、以下に続く法的根拠となる法律の掲載位置の再考、表の前には簡潔な文章表現で内容を述べ、データを記述すべきとのご意見の反映でございます。冒頭の説明文を修正し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋部分の記載を、

「1 目的」の前に配置いたしました。「4 経過」の部分では、表の前に「点検・評価の経過を以下に示します。」との説明文を追記いたしました。続きまして、2ページをお願いいたします。「Ⅱ 令和3年度の教育委員会の活動状況」でございます。

「1 主な取組」の「(1) 教育運営行政方針に掲げた取組の実現」において、法律名の修正、「(2) いちかわG I G Aスクールの取組」において、文脈が混乱しているところのご指摘と、具体的な教育活動状況について知りたいところのご意見の反映です。(1)は、法の名称を正しく記述し、「(2) いちかわG I G Aスクールの取組」につきましては、文章を修正し、「I C Tの活用に関する研修の実施や、I C T支援員の各学校への派遣によって教職員のI C T活用能力の向上を図り」といった対応状況を追記いたしました。「(3) 新型コロナウイルス感染症への対応」でございます。成人式は何を実施したのか不明確ところのご意見の反映です。成人式について開催内容を具体的に記述いたしました。3ページをお願いいたします。「2 教育委員会会議の開催状況」でございます。「右端2つの欄、『議案』『報告』に示された数字が、数であれば、『議案数』『報告数』としたらいかがか。本年度特筆すべきものがあれば、それについては若干の説明を付してはいかがか。」ところのご意見の反映です。表内の右上へ「議案」「報告」の欄は、件数を表記しているため、「議案数」「報告数」とさせていただきます。会議内容に特記する議案を1つ追記いたしました。4ページをお願いいたします。「3 総合教育会議の開催状況」でございます。総合教育会議の法的根拠を示した方が良いのでは、ところのご意見の反映です。総合教育会議の根拠である法律、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」を追記いたしました。「5 活動のふりかえりと今後の取組の方向性」でございます。これは字句の修正をさせていただきました。5ページをお願いいたします。「Ⅲ 第3期市川市教育振興基本計画に基づく事務の点検・評価」でございます。説明文から「章」を削除し、修正をさせていただきました。8ページから10ページをお願いいたします。8ページ「3 成果指標のグラフの見方」、9ページ「4 成果指標及び参考指標調査凡例」でございます。四角で囲んだ「学」「保」「総」「各」について説明がなく、成果指標及び参考指標調査凡例は、全体をとおして説明がないところのご意見の反映です。「3 成果指標のグラフの見方」では、四角で囲んだマークの説明として、成果指標の出典を表す記号を追記し、「4 成果指標及び参考指標調査凡例」について、全体をとおした説明文を追記し、「学」「保」「総」「各」の各マークの記述の位置を変更いたしました。11ページをお願いいたします。「5 点検・評価の結果のまとめと施策ごとの評価一覧」でございます。昨年のご提言を踏まえ、丁寧な評価をすることを検討すべきでは、ところのご意見を反映させていただきました。まず冒頭に、この令和3年度の点検・評価の全体を評価した文章を追記いたしました。また、それぞれの方針ごとにつきましても、評価のまとめを記述しております。方針1から3の部分でございます。また、前回のご審議により、方針3目標11施策1「教育のI C T環境の整備」につきましては、評価を○（しろまる）「施策の実現が概ね図られてきている」から、◎（二重まる）「施策の実現が図られてきている」と変更しております。14ページをお願いいたします。各施策の評価の部分でございます。「いちかわ学校三ヵ年計画」が周知されていないところのご意見がございましたので、ページの中程に当たります、今後の方向性の下、米印で、「いちかわ学校三ヵ年計画」の注釈を追記いたしました。19ページをお願いいたします。「読書教育の推進」でございます。市川市以外で学校司書の全校配置というのはあまりないので、市川市の読書教育は進んでいるのだということをアピールの方が良いのではないかとのご意見を反映させていただきました。「主な事業・取組の実績」の2つ目、学校司書設置事業の部分に、学校司書を全校に配置した部分を追記いたしました。24ページをお願いいたします。「幼児期における教育の推進」でございます。幼児期における教育の推進について、市役所内の関係各課との連携について明記されているとわかりやすいところのご意見の反映です。ページの中央「評価の理由」のところですが、市の関係部署や関係機関との連携について追記をさせていただきました。46ページをお願いいたします。「学校卒業後における障がい者の学びの支

援」でございます。こちらは、表現がわかりにくいとのご意見を反映したものでございます。「主な事業・取組の実績」の3つ目ですが、日曜大学（須和田の丘支援学校）について、実態に即した記述に変更いたしました。57、58ページをお願いいたします。

「特別支援教育の推進」でございます。58ページ、囲みの文章につきまして、「統合的」と記載していたものを「総合的」に字句を修正いたしました。62ページをお願いいたします。「夜間中学の充実」でございます。夜間中学校、夜間学級、夜間中学の使い分けについてご指摘をいただきまして、夜間中学の表記に統一をして修正をいたしました。90ページをお願いいたします。「教育のICT環境整備」でございます。前回のご審議により、評価につきまして、○（しろまる）「施策の実現が概ね図られてきている」から、◎（二重まる）「施策の実現が図られてきている」に変更いたしました。皆様からご意見をいただきました、ご審議結果によるものでございます。

続きまして、もう1つの資料、答申案の概要についてご説明をいたします。お手元をお願いいたします。答申案の1ページをお願いいたします。44の施策の評価結果につきましては、中段「記」の下にただし書きを付記しまして、「教育委員会が行った点検及び評価は妥当である。」としております。ただし書きの内容といたしましては、施策3-11-1「教育のICT環境整備」につきまして、修正のご審議をいただいたものを反映しているものでございます。2ページをお願いいたします。こちらは、「1 審議経過」として、諮問から本日の答申に至る経緯を記しております。3ページをお願いいたします。委員の皆様より、点検・評価のあり方に係る貴重なご意見を頂戴いたしました。それらを、今後の点検・評価に向けた提言といたしまして、3点記載させていただいております。まず「（1）新型コロナウイルス感染症拡大等の特別な状況下においては、施策の評価に際して、取組実績をより丁寧に評価することを、今後も考慮されたい。」といたしました。こちらは、コロナ禍のため、計画を大きく変更するなどの対応に苦勞されていたながら、できなかったことを根拠として評価を下げている箇所がいくつかあるので考慮されたいかがかとのご意見を反映させていただいたものでございます。次に2つ目、（2）として、「成果指標の数値では進捗状況を捉えにくい施策については、取組内容を質の面からも評価するよう検討されたい。」といたしました。こちらは、施策1-1-3、「読書教育の推進」においていただいたご意見からでございます。成果指標の数値だけでは進捗状況を図れない、例えば授業の質などを問うこと、評価の仕方も客観性の部分で難しい場合には、取組について、教員の側からも含めた様々な面から捉えても良いのではないかとのご意見を反映させていただいたものでございます。最後に（3）といたしまして、「進捗が著しい施策については、現市川市教育振興基本計画において当初設定した成果指標を段階に応じで見直すなど、施策の展望を見据えた指標のあり方を検討されたい。」といたしました。こちらは、施策3-11-1、「教育のICT環境整備」において、1人1台のタブレット配布が完了し、一定の成果がえられた場合に、成果指標のあり方について再度検討しても良いのではないかとのご意見を反映させていただいたものでございます。説明は以上でございます。

○天笠会長

ただいまのご説明につきまして、この後、委員の皆さんからご質問、ご意見をお願いしたいと思います。その後の段取りとしましては、ご異議がなければ、このまま承認して、この本審議会として提案していただいたものを、教育長にお渡しするということになります。一方において、委員の皆さんからご意見等々を、この後お願いできればと思いますけれども、それに伴って、仮に加筆或いは修正等々ということが出てきた場合には、その修正等々をお願いする時間を設けまして、再度修正されたものをお諮りさせていただき、そこでまた委員の皆さんから承認を得るという手続きとなりますので、その辺りのところを見据えた上で、ご意見等々をいただければと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

それで、今回の場合は1つ、ICT環境の整備ということで、今日の答申の原案に

も、全児童生徒にタブレットの配布等が完了し、教育環境が整えられたことから、施策の評価を◎（二重まる）へ変更されたいという、これが1つの原案として、委員の皆さんに、了解を図りたいということでもあります。その点につきまして、事務方からご説明いただきました。こちらの資料5をご覧くださいと思いますけれども、資料5の最後のところです。90ページ、これが修正されたものであり、ご承知のとおり、前回これが○（しろまる）でしたが◎（二重まる）ということになったわけです。改めてやや戻るような感じになるかもしれませんが、この○（しろまる）を◎（二重まる）とするということについて、前回の手続き的には皆さん方の了承を得て、今日、こういうご説明いただいたような形で修正が図られたということであるわけです。改めて、その手続きということですが、○（しろまる）だったものが、先ほど来のご説明に従いまして◎（二重まる）にしても良いかという確認を1つお願いしたいと思います。委員の皆さんから、◎（二重まる）にすることについて、ご異論のある方いらっしゃいますでしょうか。確認の意味を込めまして、その点いかがでしょうか。

○委員全員

【異議なし】

○天笠会長

それでは◎（二重まる）で了とする、全員了解したということです。我々は、データを持っているわけではないのですが、1つの根拠として、委員の全員が委員から出た意見を了とするということで修正をさせていただきました。市民の皆さんに、その理由をお伝えしなければいけないという手続き的なことで、データの読み方や、説明の仕方ということを、私どもは、そういう形で取らせていただいたということを会議録に記していただければと思います。この件については、◎（二重まる）で了ということですが、他の委員の皆さんから、この際ということで、ご意見がありましたら、同様の手続き手立てという形でお願いできればと思いますけれども、いかがでしょうか。副会長、お願いします。

○石田副会長

この資料の19ページです。施策の3「読書教育の推進」について、1回目でもお話をさせていただいたのですが、前回きちんとお話しすればよかったのですが、もう一度、意見として、皆さんにご審議をいただければと思っております。評価の結果としては、あまり推進が図られていないという、△（しろさんかく）になっています。読書教育の推進の中で、施策の中で2つ大きなものを書いてあります。1つは、図書の活用など幼児期からの読書活動の推進であります。これについては、学校では、図書館の本を各教室に置いて、常時子どもたちが本を読めるような環境を整えたり、かなり多くの学校でやっておりますけれども、朝読書を推進したりして、読書に親しむ、そういった環境整備を図っています。これは第1回目の時、田中先生がお話されていた市川が長い間にわたって読書教育を推進してきたという地盤があって、多くの学校でそういう取組が着実に進められてきているという面があります。2つ目は、施策の中に、「図書館機能の充実を図ります」というところがあります。ここにつきましては、学習指導要領が新しくなりまして、主体的な学習や、深い学びを進めていく中で、どの教員も、学習の流れの過程の中で適宜適切に、ここでは図書館で子どもたちに調べさせる、ここでは図書を使って自主的な学習をさせよう、というようなことが、着実に進むようになりました。それに合わせて、学校司書の方も、ネットワーク便を使ったりとか、ほかの学校と連絡を取ったりして、その授業のどこに合わせて、何を持ってくればいいのかということが、かなり進んできていると思っており、この2点から、施策の実現については、概ね図られてきているのではないかと私の中では評価をしているのですが、そこについてご審議をいただければと思います。

○天笠会長

検討をお願いしたいという今のご提案は、19ページのところにあります。△（しろさんかく）を、○（しろまる）にしても良いのではないかと提案です。委員の皆さんから、そのことについて、ご意見をお願いできればと思います。いかがでしょうか。はい、どうぞ五十嵐委員。

○五十嵐委員

第1回の審議の時にもお話させていただいたのですが、今、石田先生の方からもお話があったとおり、各学校では、とても積極的に取り組んでいらっしゃると思いますし、授業の中、図書館を活用した授業の時数も大幅に増えているというデータもあるので、ぜひここは概ね達成できたという評価でよろしいのではないかと思います。

○天笠会長

今、データがあるとおっしゃっていましたが、どこのデータの事でしょうか。出ているデータということですか。それとも、ご自身がお持ちになっているものですか。

○五十嵐委員

もともとのこちらの冊子の20ページのところで、参考指標として、「学習活動などで、学校図書館を利用した授業時間数」ということで、小学校、中学校、特別支援学校と出されていますけれども、この授業時間数が大変増えているということがありますし、あと、情報教育のところでもそのことが記述されていますので、ぜひそこを評価していただけるといいのかなと思います。

○天笠会長

ほかの委員の方からご質問、ご意見ございますでしょうか。

私の方から、石田委員にご質問します。22ページのデータのところで、目標値が82%と示されているのですが、「読書は好きです」と回答する児童生徒の割合です。目標値の82に対して、令和3年度の場合は71とか70になっていて、要するに目標値に達してないという、そういうことから△（しろさんかく）と判断されたのではないかと思います。少なくとも、データに則ってそういう形で判断されたということに対して、今おっしゃったように、たくさんデータがあるから、それを見れば云々というお話だったのですが、その辺りのところをどう捉えたら良いのか、理解したら良いのかという辺りのところはどうでしょうか。1つの根拠はこちらの方で、数値として示されているということなのですが、片や、私の限りですと、印象として皆さん頑張られているという理由だと、評価を覆すには、根拠が弱いと言わざるを得ないところがあるかと思うのですがいかがでしょうか。

○石田副会長

確かに82%に対して73、71っていうのは結構低いと思います。この目標値が高いか低いか今回は別として、「読書は好きですか。」と聞かれた時に「好き」と答えてなくても、読書教育の中で、様々な価値を学んだりとか、いろいろな知識を学んだりとか、そういう深まりというのは、やはり図書館を用いた学習を経て、確実に知識が高まっていたり、広がっていたりというのは、子どもたちの中でも、確実に見取れるところでもあります。好きですと言われると確かにそのとおりですが、好きでなくても、そういう価値観や知識の広がりがあるのではないかと考えています。

○天笠会長

この辺りのところ事務方としては△（しろさんかく）と出したことについての経過、

判断を改めてご説明いただけますでしょうか。

○町田教育総務課長

△（しろさんかく）にした経緯でございますが、やはり成果指標というのをどうしてもその中心として見ざるを得ないというところがございますので、それに結びつく成果指標10の部分の「読書が好きです。」と回答するところ、やはりこの辺を1つの判断とさせていただいたところではございます。

○天笠会長

それに対して今、変えても良いのではないかと、もっとプラスに評価しても良いのではないかとというご提案が出ているわけです。そうした場合に、皆さんの立場からすると、逆に今度は、私どもが◎（二重まる）を○（しろまる）にとか、或いは△（しろさんかく）にしろということだってあり得る訳なのですが、考え方として、この手続き上の変更の仕方というような、その辺りのところはどうか判断していったら良いのでしょうか。いかがでしょうか。

○町田教育総務課長

今回、ご答申という形でご意見をいただくものでございますので、あくまでこの審議会の委員の皆様の決定事項、ご意見というような形で、答申で上げていただくことは、問題ございません。今回の答申の中で、評価の変更については、ICTを記載しておりますが、そこに読書教育の評価も△（しろさんかく）から○（しろまる）に変更することに問題はございません。あくまでも審議会の委員の皆様のご意見、ご提言という形で受け止めさせていただきます。

○天笠会長

ということで、委員の皆さんに、この後ご判断をお願いしたいと思っております。この△（しろさんかく）を○（しろまる）にしてもよろしいのではないかとというご提案に対して、了とするという見解ならば、それで良いし、逆にこのままでもよろしいのではないかとというご判断も、あるかもしれません。その辺りのところについて、諮らせていただくということで、よろしいでしょうか。ということで、これは委員の皆さん全員の判断をお願いしたいと思います。

○柳澤委員

その前によろしいですか。

○天笠会長

はい、どうぞ。

○柳澤委員

私は、目標の3についていろいろ発言をさせていただきましたが、やはり客観的データに基づいて○（しろまる）△（しろさんかく）を付けられているのだと思うのですね。ですから、図書の方も、心情という扱いは重々わかるのですが、食育も私はかなり心情的には○（しろまる）ということ発言していましたが、やはり全体の評価というものがあるのだということを学びましたので、ほかとのバランスを考えますと、ここは△（しろさんかく）のままでというのが私の考えです。

○天笠会長

私も少し市川市に関わらせていただいて、市川市の取組の中に、図書館に関わる教育の充実ぶりなどは、実際にいろいろなところで拝見しているわけでありまして、ですからそういう点でご提案の趣旨が非常によくわかるわけです。ただ、ここはどうい

う手続きで判断をしているかということを考えていくことも、また、私どもが判断する場合、大切になってくるということで、今、それぞれの方のご判断をお願いできればと思っています。いかがでしょうか。

○町田教育総務課長

1点よろしいでしょうか。お手元の別冊の1、点検・評価報告書案、7ページをお願いしたいのですが。今回の成果の評価の目安という部分で、改めまして申し上げますと、1行目になります。成果指標の単年度の動きや経年変化を軸にある意味中心として、成果指標を見ているわけではございますが、そのほかに、成果に対する取組状況、こちらを加味をして決定しているということになります。ですので、この取組状況の加味が非常に判断の難しいところでございます、ここのご審議もあわせて、お含みおきいただければと思っております。以上でございます。

○天笠会長

今の説明等々もまた受け止めていただければと思います。そういう点からすると、この件についても成果指標そのものが、ある意味で非常に弱かった、乏しかったというか、或いはこの事柄を判断するデータの見直しが基本的に必要だという問いかけでもあるかと思います。そういう点からすると、提案が出てくるというのは、ある意味で、いかにもと思うのですけれども、それらも含めまして、いかがいたしましょうか。どうぞ。田中委員お願いします。

○田中委員

結論をどちらにするかですけれども、それまでに至る考え方として、今、課長が言われたように、今回私どもの答申は、具体的な取組状況を見るということと、さらには、その取組状況の具体の状況を見るということです。それから、さっきご説明がありましたけれども、最後の提言の3つの中の、2番目に質の面というのがあります。それは、つまり、具体的な実際の取組状況や質の面というのをかけ合わせたときに、どう評価すべきかという判断になるので、私も市川市の豊かな取組というのは20年前から感嘆して見ているのですけれども、実際に、現在取り組んでいらっしゃる先生方とか、学校とか教育委員会から見たときに、市川のように豊かに取り組んで△（しろさんかく）なのかと、全国などの広い視野で見ると思っています。ただ、指標から見るとこのように判断せざるを得ないので、その判断せざるを得ないことを具体的な取組状況、質の面と合わせて、考えて判断をすれば良いのではないかと、今の段階では申し上げます。

○天笠会長

ということで、お諮りをさせていただきたいと思います。石田委員からのご提案ということで、よろしいという方は、恐れ入りますけれども、1つは、出た案をよろしいと思う方は挙手をお願いしたいと思いますし、従来の△（しろさんかく）でよろしいという方は、その次に、お諮りをさせていただいて、挙手をお願いしたいと思います。2つお尋ねさせていただきますので、まず1つ目として、○（しろまる）でよろしいという方、恐れ入りますけど挙手をお願いできますでしょうか。

【挙手4名】

○天笠会長

4名の方が手挙げられたかと思います。それから、原案の△（しろさんかく）でよろしいのではないかとという方いらっしゃったら手挙げいただければと思います。

【挙手3名】

○天笠会長

はい。あとは、意見保留という判断にさせていただきたいと思いますので、そういう点では、規定があるわけではないですけれども、数が多かったということで、これを○（しろまる）にさせていただくということで、処理をいただければと思います。どうもありがとうございました。

それから、もう1つ続きまして、前回ですね、柳澤委員の方から、食育に関わってご発言があったかと思います。今こういう形で読書教育について、手続きをさせていただきましたが、食育の方に関わって、柳澤委員から、何かご発言についてはよろしいでしょうか。

○柳澤委員

そうですね。3項目すべてが△（しろさんかく）という評価ですので、この中でどれが○（しろまる）というのが、今、私では何も判断できませんので、それに関しては、発言するつもりはありません。

○天笠会長

わかりました。また、お含みをいただくというか、今後ともよろしく願いいたします。ということで、前回との関わりで、今、2件ご意見がありましたが、そのほかの点で、ご発言、お気づきになった点がありましたら、お願いできればと思います。具体的にどこをどう修正するというご発言も、もちろんお願いできればと思いますけれど、また、それはそれとしまして、この間、今日含めまして3回、おいでいただきまして、いろいろお気づきの点もあるのではないかと思いますので、その点についてももしありましたら、お願いできればと思います。はい。柳澤委員。

○柳澤委員

本当に機械的な表記の部分ですけれども、今回提出していただきました資料の5の14ページのところです。スターマーク、これが1つ増えたのですけれども、1番2番の表記がありません。それで、この冊子自体が、統一されてないといえますか、大方1番2番がついています。例えば、22ページとか30ページとか48ページは1番2番という表記が付いているのですけれども、付いていないページもあるので、冊子としては統一した方が良いと思いますので、付けるのであれば、1つであろうが2つであろうが番号を付け、付けないのであれば付けないという形で、そろえた方がよろしいかと思いました。以上です。

○天笠会長

どうもありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。それでは、松本委員、田中委員の順番でお願いします。

○松本委員

ちょうど14ページでご指摘がありましたので、続けて14ページについて申し上げたいと思います。前回、申し上げればよかったのですが、真ん中の「主な事業・取組実績」のところの2つ目の点のところ、外部人材の活用とか、支援者の活用というような書き方をされています。人材の活用がごく一般的な言い方で、特段取り上げるべきではないことかもしれないのですが、やはり例えばこの2番目の支援推進事業ということで、多くの市民の方々が協力してくださっているところで「活用」という言い方はどうなのかと思いますので、例えば、「協力を受け」とか何かそういった言い方の方が、良いのではないかと思います。この事業は私も参加したことがありますけれど、交通費を使ったり時間使ったり、かなり労力体力を使ってやるものだったように思いますので、その辺の文言をご考慮いただければと思います。それと同じところ

でこの学校支援推進事業と書かれております。これは学校支援実践講座のことを指しているかと思うのですが、そこに「学校支援実践講座」という文言が出てこないで、付け加えられた方が良いのではないかと思います。市民としては学校等に関心ある方が、たくさんこの事業に関わっていらっしゃると思いますので、そこはぜひ記入いただいた方が良いでしょう。いかがでしょうか。それと同じところで、その上の点のところですが、例えば、「いちかわ学校三ヵ年計画」のところ、注釈を付け加えていただいております。例えばですが、こういう名称といますか、これが一般名詞なのか固有名詞なのかなと思うのですが、そういうところに、かぎ括弧を付けたら、読みやすい、見やすいのではないかなと思います。例えばですね、この14ページの次のページの16ページの真ん中のあたりで「あいさつ運動」というところがあります。ここはかぎ括弧で括られておりますし、その辺の表記の一致といいますか不一致といいますか、表記の仕方、見やすさということをご考慮いただいて、今後のことになるかもしれないですけど、見やすくされた方が良いでしょう。

○天笠会長

どうもありがとうございました。続きまして田中委員お願いいたします。

○田中委員

表記の事です。取捨は事務局にお任せしますが、例えば、答申案の文章の1枚目の鑑のところですが、最初の「記」の上は、「下記のとおり」の「とおり」は平仮名で書いてあって、「記」の下2行目ところは、漢字で書いてあります。平仮名が良いと思いますが、統一された方が良いでしょう。それから、下に「配布」とあります。こちらの方では、「付」けるではなくて、「布」を使っている。両方あるので、これは表記を統一していただければ良いでしょう。書き直されたところで、施策の個数でしたか、「何個」「何個」と助数詞の「個」が付いていたりいなかったりしています。「全53の議案を」というところでは、「個」が付いていないです。数を出すときに「個」を付ける、付けないというのを直していただいて、あったり、なかったりということが、ないようにしていただいたほうが良いでしょう。それから、今日配られた中で、直していただいた部分なのですが、こちらは全体として良くなったと思います。11ページからのところですが、最初に「方針の概況」というのが全部付いています。方針1については、「15個の施策のうち、11個の施策において」と書かれていますが、「方針の概況」なのか、「方針の評価の概況」なのか、或いは「方針の評価の結果の概況」なのか。方針を説明しているわけではなく、評価の結果を振り返っているわけなので、「方針の評価の概況」か「方針の評価の結果の概況」になるのではないかと思います。細かいことですが、よろしく願います。

○天笠会長

どうもありがとうございました。ほかによろしいでしょうか。

では、次に進めさせていただきたいと思うのですが、私から2件、お願いしたいと思っています。まずは、今日の答申に関わることです。提言というのが(1)から(3)まで文章化されているのですが、この中に、施策相互の連携ということに関わる文言が入っているのでしょうか。審議の中で、同じことが何回も出てくるというのは、例えば読書教育など、この施策にもその施策にも、それぞれ出てきてもおかしくないのですが、そうしたときの連携を図るとか、或いは、5ページからの方針1から方針3まで、すべての施策の一覧の体系がありますが、その相互の関係を見つめ、見直すとか、連携を図るというようなことは(1)から(3)の文言の中には、うまく表記しきれていないのではないかなと思いました。ですから、仮に、来年また私どもが、このことについての審議をする時に、この体系がまた出てくるのか、それ

とも、これから施策を割りながら、施策間の相互関係が調整されて、新たな施策がこのところに、表記されてくるのでしょうか。そういうことは、私どもの守備範囲の外になっているのかどうか。出されたものを判断するというのが私どもの役割なのか、それともこれについての施策間の相互関係など、加除修正点をご提言させていただくことができるのでしょうか。(4)になるのかもしれませんが、施策間の総合関係とか連携について見直すということ、変化の時代ですので、そういう点からすると、この施策が、このまま固定化された形で、2年も3年も続くこと自体が行政のダイナミックさを弱めるのではないかという思いもあって発言をさせていただきました。

それから、もう1つは、この文書云々ということよりも、教育委員の方の仕事の評価がなされているのかがよくわかりません。別に活動がこのようなあったということは報告されているのですが、私も、とあるところで教育委員を経験させてもらった立場からしますと、教育委員に対しての評価ということは、もう少しちゃんとやった方がいいのではないかと思います。この段階ですと、活動の報告がここに記されるにとどまっているという印象でして、その活動の報告が、よかった、まずかった、といった観点からの評価が必要ではないかと思います。他の施策はそういう形で、評価をなさっているわけですので、必ずしも他の施策と同じようなレベルでとは申し上げませんが、もう少し、教育委員の活動に対しての何らかの視線をここに記されるということも、必要なことなのではないかと思いますので、どこかでご検討いただくのも、お願いできればいいかと思っています。

どうぞ、田中委員。

○田中委員

今の会長のご意見に全く賛成です。最後に申し上げようと思ったのですが、今日話題になったICTの整備状況とか読書教育とか情報教育とか、これは、「今後の方向性」の辺りに、お互いに触れ合った方が良くと思います。今年はこのままでいくしかないのですが、「ICTはこれだけの資金を出してこうしました、それが、このような事業改善につながっています。」など、何かこう実際の評価や今後の方向性を考えるときに、関連するほかの指標等々、資料などと関連付けてみる、紐づけてみる、方向性を見てみると、今、会長のおっしゃったことのいくつかは反映できるのではないのでしょうか。以上です。

○天笠会長

読書教育にしても、こういう施策の分担でやっているから、必ずしも効果上がらないのかもしれませんが、その辺りの相互の連携の関係を評価する、或いは修正をしながら進めていくということで、より成果が上がってくるというような視点をお持ちいただくということも申し上げた意図としてあるということを受け止めていただければと思います。それでは、ここで、次のところに進めさせていただきたいと思います。ここまでのそれぞれの委員の方のご意見や、審議の結果を踏まえて、事務局の皆さんには、答申案の修正をお願いしたいと思います。その間、休憩の時間を取らせていただきますけれども、そういうことでよろしいでしょうか。およそ15時5分再開ということで、よろしいでしょうか。それでは、今、14時50分ですが、15時5分再開ということで、休憩にさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【休憩】

○天笠会長

それでは、再開いたします。答申案の修正箇所について、事務局から説明をお願いいたします。

○町田教育総務課長

お時間を長くいただきましてありがとうございました。申し訳ございませんでした。本日ご審議いただきました内容を踏まえまして、修正をさせていただきました。まず、答申案1ページ目のところです。当初示させていただいたのが、ICTの環境整備の評価の部分でございましたが、そこに読書教育の推進を加えさせていただきました。「学習活動に図書の活用が適切に組み入れられていることから、施策の評価を○（施策の実現が概ね図られてきている）に変更されたい。」という一文を加えさせていただきます。また、全体的なまとめになりますが、3ページ目、「2 今後の点検及び評価に向けた提言」に、(4)を加えさせていただきます。「相互に関連のある施策については、つながりを考慮して評価を行えるよう検討されたい。」ということで、あくまでも連携した、関連のあるものについては、個々だけではなく、つながりを持った全体的な評価を行えるように検討されたいと、そのような文章を一文加えさせていただいた次第でございます。よろしくお願いいたします。

○天笠会長

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

それでは、意見がないようですので、答申案につきまして、採決をさせていただきますと思います。なお、この後、何かありましたら、それは会長預かりということ踏まえた上で、採決いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。そのことを含めまして、この答申案のとおり教育委員会に答申することに賛成の方の挙手をお願いしたいと思います。

【全員挙手】

○天笠会長

それでは、全員賛成ということであります。この答申書のとおり、教育委員会に答申することを決しました。それでは、答申書の提出の準備を行いますので、今しばらくお待ちいただければと思います。

○町田教育総務課長

それでは、天笠会長から田中教育長へ、「令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価」に対する答申をご提出いただきます。

【天笠会長から答申提出】

○田中教育長

天笠会長をはじめ委員の皆様には、長時間にわたりご審議を賜りましてありがとうございました。

○天笠会長

どうもありがとうございました。それでは、最後に事務局からご連絡等々をお願いいたします。

○町田教育総務課長

3回にわたりまして、かつ長時間にわたりまして、委員の皆様から様々な貴重なご意見を賜り、本日答申をいただくことができました。誠にありがとうございました。今後の予定につきまして、ご説明させていただきます。本日いただきました答申の内容を踏まえた点検・評価報告書案を教育委員会会議で決定した後、市議会へ報告いた

します。また、市公式ウェブサイトにて、市民に公開をしてみたいです。事務局からは以上でございます。本当にありがとうございました。

○天笠会長

どうもありがとうございました。それでは、これもちまして、令和4年度第3回市川市教育振興審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。